

環境学習

News

ニュース



発行: 茅ヶ崎市 環境部 環境政策課 令和元年度 11月発行

電話: 0467-82-1111(内線 1211)

Eメール: kankyouseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

～環境フェア 2019 にご協力いただきありがとうございました～

10月5日(土)に「ちがさき環境フェア 2019」を開催しました。スクールエコアクション取組紹介や活動展示、梅田小学校不要品回収プロジェクト(FKP)をはじめ、市内小中学校にご協力いただきました。また、ちらしの配付やポスター掲示等にもご協力くださりありがとうございました。お陰様で、ちらしをご覧になったという親子連れの方が多くご来場くださいました(アンケート結果より)。来年度もご協力の程お願いいたします。

スクールエコアクション取組紹介

取組紹介の動画(DVD)の貸出ができます。
ご希望の学校は環境政策課までご連絡ください。

環境フェアでは、平成25年度から毎年中学生のみなさんに学校での環境活動について発表いただきました。今年度からは、小学生の日頃の環境に関する取り組みを取材し、環境フェアの当日、動画で紹介しました。

今年度は梅田小学校と香川小学校の取り組みを紹介しました。楽しみながら取り組む子どもたちの様子が伝わってきました。紹介校の取り組みの詳細は、別紙の「スクールエコアクション取組紹介」をご覧ください。

◆梅田小学校◆

紹介内容

- ①FKP(不要品回収プロジェクト)
- ②梅田をきれいにしよう



◆香川小学校◆

紹介内容

- ①香川の森からのおくりもの
- ②香川小のエコ活動



梅田小学校不要品回収プロジェクト（FKP）

「不要品回収イベント」～FKP×もったいないジャパン～

リユースの仕組みを学び、資源循環システムの大切さを体験してもらうとともに、市民等に伝えるために、毎年環境フェアで古本を回収し、売上金を市の環境に関する基金等に寄付する古本回収プロジェクト（FKP）を行っている梅田小学校運営委員会と、不要品を回収し福祉施設等に寄付しているNPO 法人もったいないジャパンがタッグを組んで、今年は環境フェアで不要品を回収しました。運営委員の皆さんには、広報から、お礼の品のしおり作成、当日のブース運営まで携わってもらいました。今年も皆さんの呼びかけの効果で多くの不要品が集まり、その内878点をブックオフに売却し、その金額**16,222円**を市の「太陽光発電設備普及啓発基金」と「緑のまちづくり基金」に寄附していただきました。また、売却できないものは、もったいないジャパンを通し、福祉施設等に寄附されました。運営委員の皆さんありがとうございました。

寄付金贈呈式

11月5日に寄付金贈呈式が行われ、運営委員のみなさんから市長へ寄付金が手渡されました。

贈呈式では、最初は少し緊張気味でしたが、今回の感想を聞かれると、「初めて他の団体とコラボで行いましたが、そのことで回収できるものも増えて、捨てられるものも減って、市のために、必要な場所のために多くのお金や物を寄付できて良かったと思います。これからも色々な団体と手を組んで頑張っていきたいです。」と元気に話してくれました。また、「これからもこの経験を活かして色々なことにチャレンジしようと思います」や「未来でもこういう活動をしていけたらと思います」、「来年の6年生にも繋げたいです」と今後の意気込みもお話してくれました。市長からは「寄附をいただけて感謝します。市の事業のためにしっかり使わせていただきます。こういった取組がご家庭に広がり、そして地域に広がり、梅田小学校にフィードバックされるように引き続きお願いします。」と感謝が述べられました。



→当日の様子



→お手製のしおりと広報用ポスター



環境フェアにご協力いただきありがとうございました。来年もよろしくお願ひします！

スクールエコアクション活動展

市内小中学校8校から、児童・生徒が作成した環境に関する作品を提供していただきました。

今年は9月30日から環境フェア当日まで、市役所1階市民ふれあいプラザに展示しました。

各学校の個性を活かした作品に多くの方が足を留めていました。



その他イベントいろいろ

環境フェアでは体験型イベントを中心に様々なイベントを開催し、多くの親子連れで賑わいました。自分で取り組める「エコ」のヒントを見つけられたのではないのでしょうか。市HPでも当日の様子をご覧ください。



↑昆虫学者「五箇先生」による
生き物スケッチ教室



↑おもしろ環境教室「燃料電池
実験&万華鏡づくり」



↑マイクロプラスチック発見体験



↑エコ体験コーナー

～お知らせ～

こども絵画コンクール 募集のお知らせ



秋も深まり、木々の葉は黄色や紅色に紅葉し、私たちの目を楽しませてくれます。身近な場所でも紅葉が綺麗に見られる場所が沢山あります。ぜひ目を留めて眺めてみませんか。そしてこの芸術の秋に、環境や自然への想いを絵にしませんか。

当コンクールでは、「みらいにつたえたいしぜん」をテーマに絵画を募集しています。個人で、又は学校やクラス単位でもご応募できます。応募作品がステッカーになる参加賞もあります。冬休みにゆっくりと描くのも良いですね。ぜひご応募ください。

テーマ

みらいにつたえたいしぜん

山や川や海、生き物や植物などの自然は、みんな大切にしなないといけないものだね。これからずっと先の未来に伝えたい自然って、なんだろう？あなたが好きな自然を絵に描いてね。

しゆかり
締切を
まちがえないでね！

応募期間

2019ねん 12が1にち日ようび ~ 2020ねん 1が24にち金ようび

参加賞

おうぼさくひん
応募作品が
ステッカーに
なるよ！



みんなに
プレゼント！

ブリチストン大賞

エコツアーをペアでプレゼント！

北海道、屋久島、奄美大島、沖縄



5
名様

ブリチストンサイクル賞：
子供用自転車



10
名様

ブリチストンスポーツ賞：
子供用ゴルフクラブ
または 子供用テニスセット



10
名様

ターナー色彩特別賞：
アクリルガッシュ
基本72色
特別セット



5
名様

ターナー色彩賞：
ポスターカラー
プライムセット
(14本セット)



70
名様

ブリチストン従業員賞：
エコピアの森
オリジナルグッズ

3
名様

エコ絵画賞：
オリジナルエコバッグ

2,000
名様

団体上位大賞

・デジタルスチルカメラ
・デジタルビデオカメラ
・プロジェクター
・iPad(9.7インチ/32GB/Wi-Fi版)
※ご希望の1つをお選びいただけます



20
団体様

写真：iPad

詳細は当コン
クール HP をご
覧ください。
申請書なども
ダウンロードで
きます。

～ピックアップ記事～

使い捨てレンズ空ケース回収運動に参加しませんか

松浪中学校では、使い捨てレンズ空ケース回収運動に取り組んでいることを昨年の環境フェアで発表してくれました。みなさんの学校でも取り組んでみませんか。

～「コンタクトのアイシティ eco プロジェクト」について～

全国のアイシティ店舗では空ケースを回収し、リサイクルメーカーで再資源化します。その対価を（財）日本アイバンク協会に寄付し、視力を再び取り戻したいと願う方々のために役立っています。



↑ 昨年の発表の様子

ポイント①環境にやさしい

空ケースはリサイクルに適した素材でできています。ごみとして燃やしてしまうのではなく、リサイクルを行うことでCO₂排出量を削減します。再資源化された安価な材料は、様々な製品に生まれ変わります。



ポイント②人にやさしい

アイシティでは空ケースをリサイクル業者に買い取っていただいた収益を全額日本アイバンク協会[※]に寄付しています。アイバンクは角膜の病気による視力障害の方の視力回復のために、角膜移植を待つ方とドナーの架け橋の役目を果たしています。

※（財）日本アイバンク協会とは

角膜移植が必要な方々が、視力を取り戻すことができるよう、角膜移植とアイバンクの啓発、普及を行うために設立された非営利の公益法人です。

取り組み方法



①「アイシティ eco プロジェクトについての同意事項」に同意し、参加を申し込みます。※参加申込はHPの問い合わせフォームから、又は環境政策課へお問い合わせください。資料、申込書をお送りします。

②回収ケース（写真参照）やポスター、ちらしなどの回収ツールの無料貸出もしています。必要に応じて申し込みます。

③回収した空ケースは、アイシティへ着払いで送付するか、お近くの店舗へ持ち込みます。

④後日集計結果が通知されます。

スクールエコアクション

取組紹介

スクールエコアクションとは、学校生活での環境活動について目標を立てて実行し、振り返りをして次につなげていくシステムです。市内全ての市立小・中学校で導入し、各校では子どもたちが中心となって省エネ、省資源をはじめ、地域の自然環境を生かした活動など特色ある取り組みを行っています。

このスクールエコアクションの取り組みを毎年中学生に環境フェアで発表してもらいました。今年からは小学生の日頃の環境に関する取り組みを取材し、環境フェアの当日、動画で紹介しました。楽しみながら取り組む子どもたちの様子が伝わってきました。

当日の様子



紹介校の取組紹介

◆梅田小学校◆

紹介内容

- ①FKP（不要品回収プロジェクト）
- ②梅田をきれいにしよう



①「FKP（不要品回収プロジェクト）」について

毎年環境フェアで古本を回収して売却し、その売上金を市の環境に関する基金に寄付する、「FKP（古本回収プロジェクト）」を行ってきた梅田小学校運営委員会の皆さんが、今年は、不要品を回収し福祉事業等に寄付しているNPO法人もったいないジャパンとタッグを組んで不要品を回収することになりました。。

運営委員会では、より多くの不要品を回収するためにはどうしたらよいのか考え、ポスター作成、全校集会での呼びかけを行い、持って来てくれた方へのお礼の品として、委員会の時間のほかに昼休みも使って、しおりを200枚も作成しました。

不要になったものを必要とする誰かに使ってもらったり、必要なことのために役立てられる、資源循環につながる素晴らしい取り組みを、多くの市民の方にPRしていただきました。

取組の様子



梅田小学校運営委員会のみなさん



お手製のポスターとしおり



全校集会で紹介する様子



しおりを作成している様子



②「梅田をきれいにしよう」について

梅田小学校の昨年の4年2組のみなさんは、国語の授業で、身の回りをどうしたいかということを考えました。通学路にごみが沢山落ちていることに気づき、それが野鳥の命の危険にもつながることを知り、街を綺麗にしたいと考えました。ごみが沢山落ちているところはどこか話し合い、ルートを皆で決めてごみ拾いを週1回、2週連続で行いました。2週目の方が量が増えていて、どうしたらポイ捨てを減らせるのか考え、ポスターを70枚作成して掲示することにしました。保健所、市役所、イオンに掲示しました。

取組の様子



お手製のポスター



ポスターを掲示する様子



ごみ拾いの様子

◆香川小学校◆

紹介内容

- ①香川の森からのおくりもの
- ②香川小のエコ活動



①「香川の森からのおくりもの」について

香川小学校には「香川の森」と呼ばれる木々やみどりが生い茂り、沢山の虫たちにも出会える自然豊かな遊び場があります。こども達にとって憩いの場となっており、休み時間には沢山のこども達で賑わっています。その香川の森の自然を活かした3つの取り組みを昨年の2年6組のみなさんがされました。1つ目は「落ち葉を使った腐葉土づくり」、2つ目は「図工の授業での木の枝や葉っぱを使った作品作り」、3つ目は「校庭に敷き詰められた桜の花びらでの遊び」です。腐葉土づくりや作品づくりでは捨てられてしまう落ち葉が肥料や作品に生まれ変わるといふ、資源循環、ごみ減量についても学ぶことが出来ました。豊かな感性を育み、様々な気づきを与えてくれるこの素晴らしい身近な自然を大切に、将来にわたり残してください。



取組の様子



腐葉土づくりの様子



完成した腐葉土で立派な緑のカーテンができました。



作品づくりの様子



一面きれいな桜のじゅうたん



②「香川小のエコ活動」について

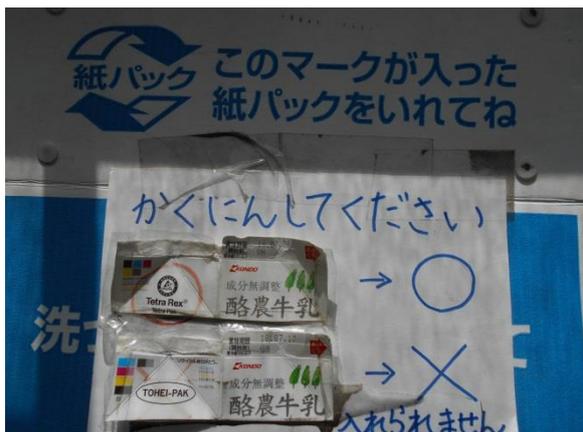
香川小学校では、ごみの分別、省エネなど全校を挙げてエコ活動に励んでいます。

ごみの分別に関しては、分別がしやすいようにごみ箱に分別のマークを貼っています。給食のごみの分別では、牛乳のストローのごみも洗ってプラごみとして捨てています。

省エネに関しては、電気係が使っていないときは必ず電気を消すようにしています。

他にも緑のカーテンづくりや、ペットボトルキャップ、紙パック、使用済みインクカートリッジ回収も家庭と連携して行っています。

取組の様子



梅田小学校、香川小学校のみなさん
ありがとうございました！

